

2023.7.8-7.17



Takeo is your home!

セバストポール市との交流 4年ぶりに再開

武雄市とセバストポール市は、1985年の姉妹都市締結以来、相互に市民による訪問交流を重ね、友好を深めています。4年ぶりとなるセバストポール訪問団は、学生16名と大人3名の計19名で来日され、7月8日から17日まで滞在。期間中は、市内のホストファミリーのお宅にホームステイしながら、市内散策や幼稚園の訪問、市内中学校の体験、セバストポール通りでの記念撮影、スポーツチャンバラ体験などをして過ごされました。セバストポール訪問団代表 水谷めぐみ様は、「異国の地で家族以外の方に大切にされる経験や様々な文化に親しむことが世界平和につながります。次回はぜひセバストポール市へお越しください」と挨拶をされ、両市の今後のますますの友好を確認しました。



市長だより

先日、全国の市町村長の前で、武雄の豪雨災害について話す機会がありました。災害で得た教訓やその後の対策などについて話したのですが、後日、通信社の配信記事では、「(市長は)豪雨災害の失敗談を赤裸々に語った」と、当時の失敗談だけがフォーカスされていた。失敗談に触れたのは事実ですが、なぜ失敗を強調した記事が配信されたのか。記事の中身に不満があるわけではなく、その理由を冷静に考えてみました。まず一つ目は、災害対応という分野の特性です。災害対応が一番良くないのは決断しないこと。正しいという確信がないと即断即決が求められます。なので、時には失敗することもある。住民の命を守るためには失敗もある意味良しとして、何でも負荷は学ぼうという意識が全国で年々高まっていると感じます。もう一つは、失敗談を「赤裸々に」話すという点にもとても珍しかったこと。実際記者さんから後日そう言われました。最近の世の中は、失敗を許容しない空気が広がっている気がします。でも、成功より失敗の方が多くの学びが得られ、失敗した時にはきちんと反省し、改めべきところは改めなければいけません。失敗があるからこそ、人類は進歩してきました。失敗に対する見方も変えることが、明るくおぼろげで、未来を感懐する社会につながることを信じています。

武雄市長 小松 政

TAKEO

広報武雄 No.210 2023年8月号

CONTENTS

▶ 特集	そのままではもったいない！ 空き家を地域資源に	…04
ニュース	SAGA2024武雄市開催に向けてうちわをいただきました 武雄中央ライオンズクラブ様よりご寄附をいただきました	…09
	令和5年度 武雄市職員採用試験	…15
	やさしい日本語でおもてなし	…23
	家庭からはじめるジェンダー平等	…26
お知らせ	お盆期間中のごみ収集・尿汲み取り 8月は「同和問題啓発強調月間」です	…17
	おたんじょうおめでとう	…30

発行・編集 / 武雄市役所 企画部 秘書広報課 ☎0954-23-9121
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
印刷 / 有限会社 四季の丘印刷